

第2回日独国際会議・少子高齢社会と家族のための総合政策

Familienpolitik in der alternden Gesellschaft Ein deutsch-japanischer Vergleich

Das 2. wissenschaftlicher Kolloquium :Session 3 (#5)

人口構造と地方都市：札幌市とフライブルク市のマクロ社会学的比較

Population Structure and Urban City:
Macro Sociological Comparison between Sapporo and
Freiburg i. Br.

3. 家族政策と市民社会政策

2008-11-14 14:05~14:35 筑波大学総合研究棟A

原 俊彦 (札幌市立大学)

Toshihiko HARA (Sapporo City University)

プロフィール：札幌市 vs. フライブルク市

Profile: Sapporo vs. Freiburg i. Br. (2008年1月現在)

- 札幌：政令指定都市、冬季オリンピック
- フライブルグ：環境都市・先端的街づくり
- 総人口 Population size: 198.5万人 vs. 21.9万人 (約1/10)
- 面積 Area: 1121.1 Km² vs. 153.1 Km²
- 人口密度 Population Density: 1691人/Km² vs. 1434人/Km²
- 森林面積割合 Forest Area : 85.1% vs. 41.8%
- 大学都市：北海道大学 vs. フライブルグ大学
- 合計特殊出生率 Total Fertility Rate (TFR)

2005年：0.98 (Japan 1.26) vs. 1.12 (Germany 1.36)

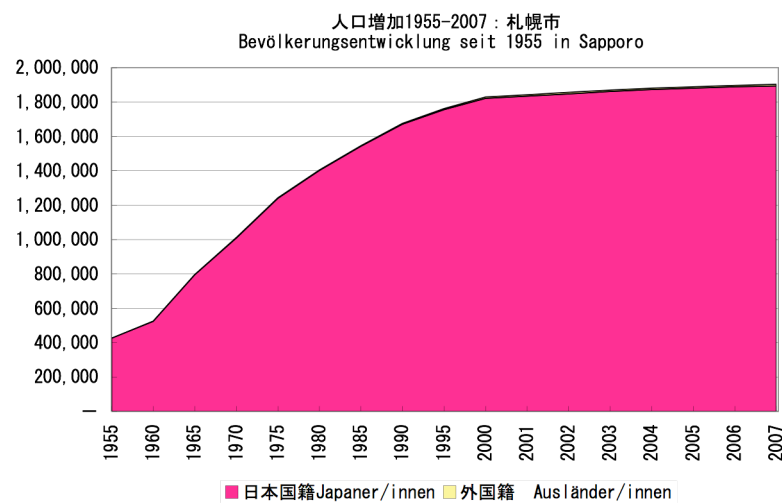
* 全国を1とした場合の出生力格差 0.78と0.82

人口動態：札幌市 vs. フライブルク市 Population Dynamics : Sapporo vs. Freiburg i. Br.

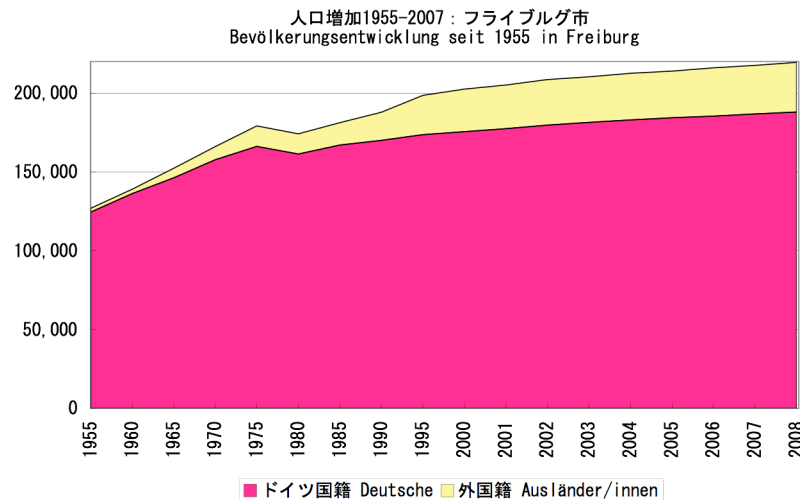
- 自然増加率 Natural Increasing : 0.24‰ vs. **1.49‰.**
- 普通出生率 Birth : 7.6‰ vs. **9.3‰**
- 普通死亡率 Death : 7.4‰ vs. 7.8‰
- 社会増加率 Social Increasing : 2.40‰ vs. **7.44‰**
- 転入率 Immigration : 37.1‰ vs. **83.9‰**
- 転出率 Emigration : 36.5‰ vs. **76.5‰**
- 普通婚姻率 Marriage : 6.4‰ vs. 6.5‰
- 普通離婚率 Divorce : 2.5‰ vs. 3.0‰
- 人口増加率 Population Increasing : 2.5‰ vs. **8.9‰**

*いずれも成熟段階だが後者の方が増加率は高い。

総人口の推移 1955-2007：札幌市 Population Development : Sapporo



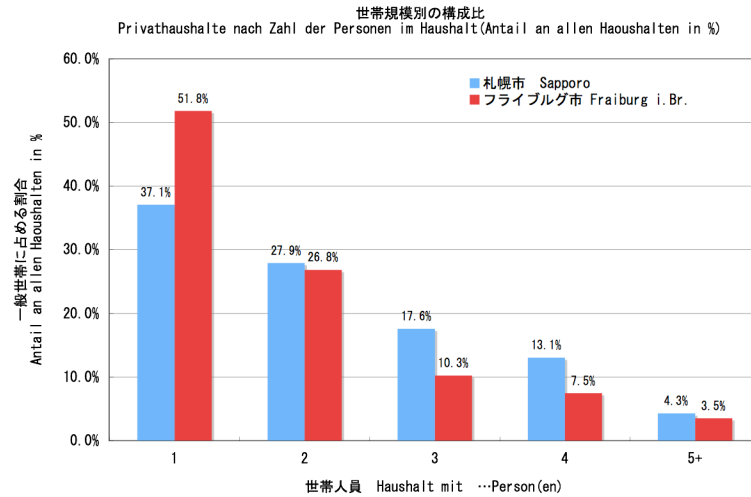
総人口の推移 1955-2008 : フライブルグ市 Population Development : Freiburg i. Br.



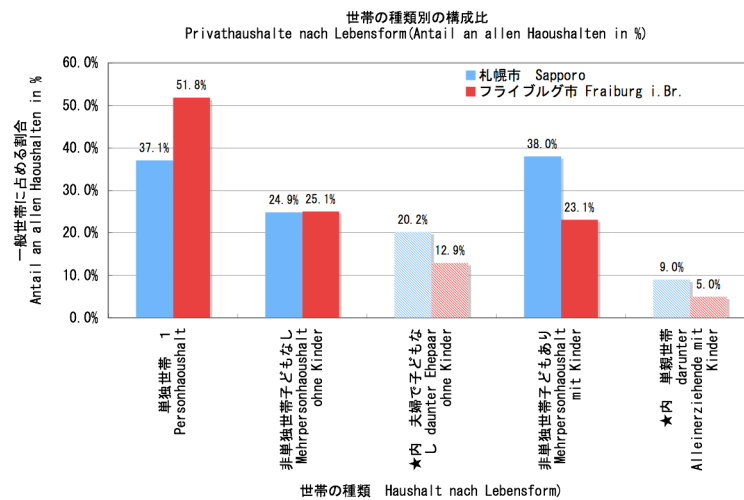
人口構造 : 札幌市 vs. フライブルグ市 Population Structure : Sapporo vs. Freiburg i. Br.

- 性比Sex ratio : 0.89 vs. 0.90
 - 外国人割合 Foreigners: 0.5% vs. **14.3%**
 - 就業人口割合 Employed : 44.3% vs. 40.6%
 - 年少人口割合 0-14 years old : 12.3 vs. 13.1%
 - 生産年齢人口割合 15-64 years old : 69.3% vs. 70.3%
 - 老年人口割合 65+ years old : **18.4%** vs. 16.3%
- *外国人割合以外は近似しており、いずれも少子高齢化が進んでいる。

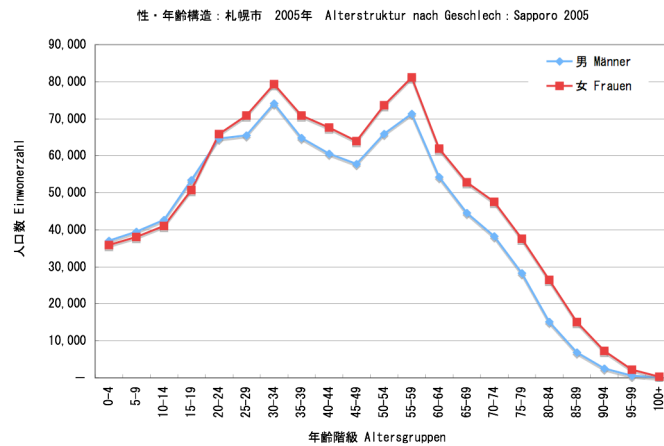
世帯構造(規模別)：札幌市 vs.フライブルク市 Household Structure : Sapporo vs. Freiburg i. Br.



世帯構造(種類別)：札幌市 vs.フライブルク市 Household Structure : Sapporo vs. Freiburg i. Br.



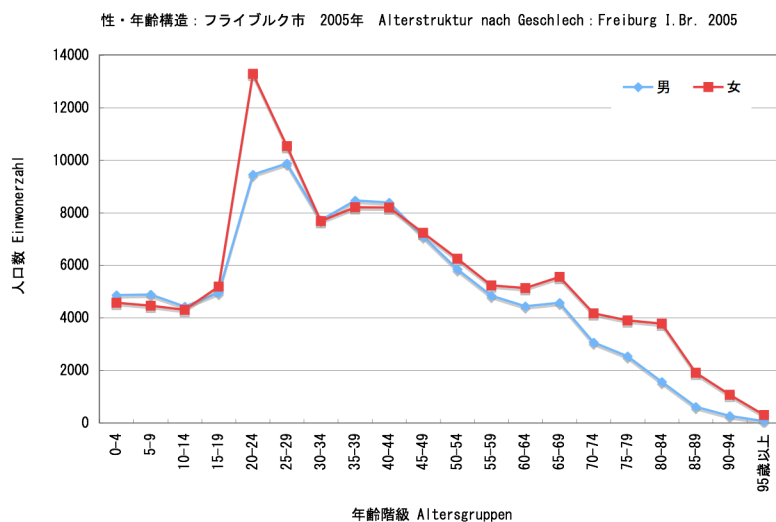
年齢構造の特徴：札幌市 Sex/Age Structure : Sapporo



Sapporo City University

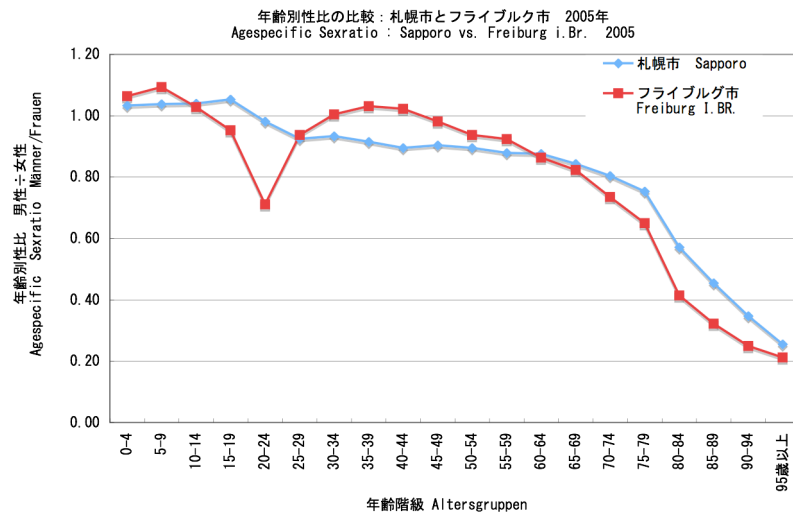
9

年齢構造の特徴：フライブルグ市 Sex/Age Structure : Freiburg i.Br.

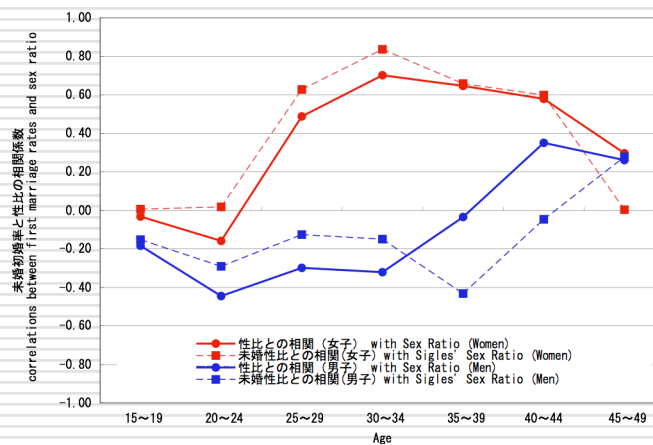


年齢階級 Altersgruppen

年齢別性比：札幌市vs.フライブルグ市 Sex ratio by Age: Sapporo vs. Freiburg i. Br.

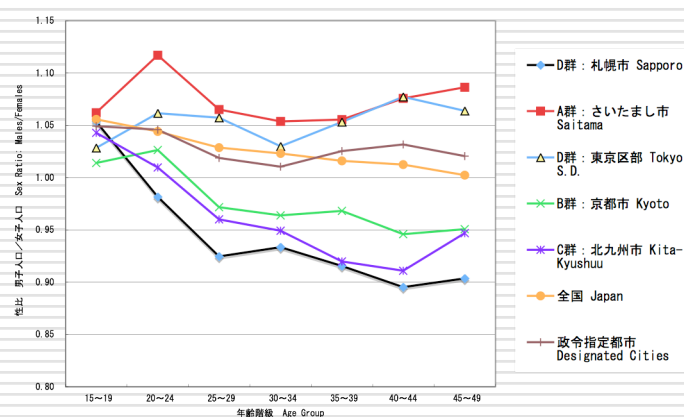


初婚率に対する性比の影響 Influence of sex ratio on the first marriage



女子の未婚初婚率は20-24歳、25-29歳のあたりで男女の人口移動率の格差により女性に男性に対し相対的に過剰となることにより発生し、この結果が男女の未婚初婚率格差として、さらに30-34歳以上の未婚性比のアンバランスにつながり、女子の未婚初婚率を低水準に留めていると考えられる

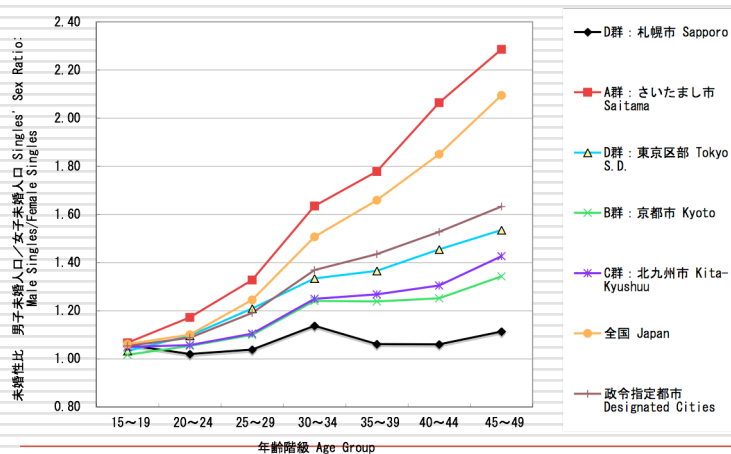
年齢別性比の比較 Sex Ratio by Age in Comparison



Sapporo City University

13

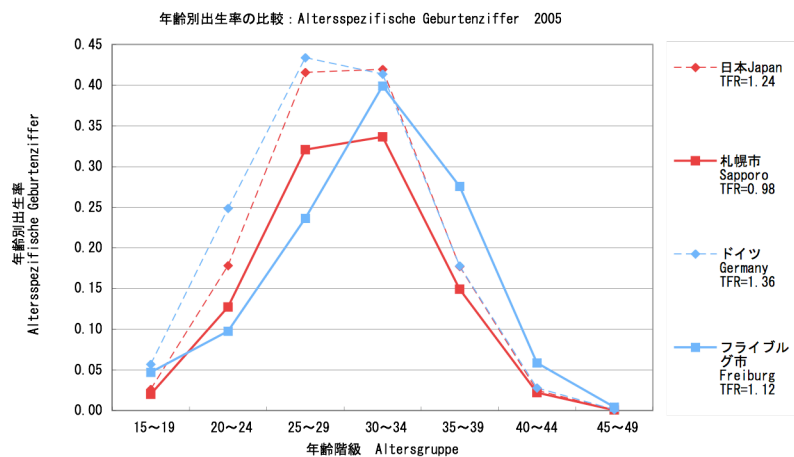
年齢別未婚性比の比較 Sex Ratio of Singles by Age in Comparison



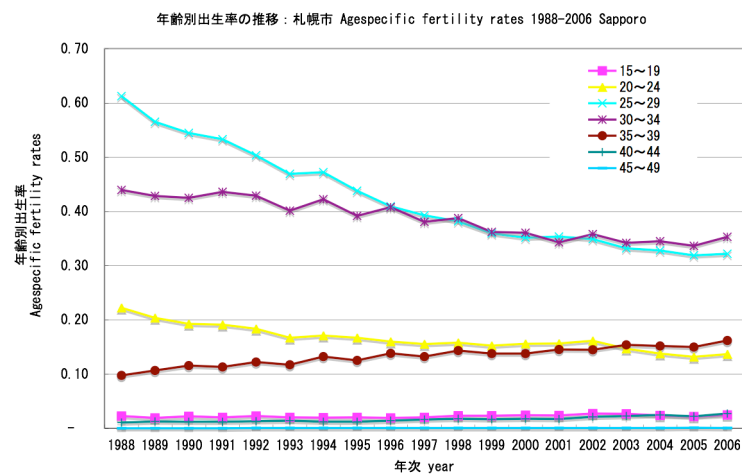
Sapporo City University

14

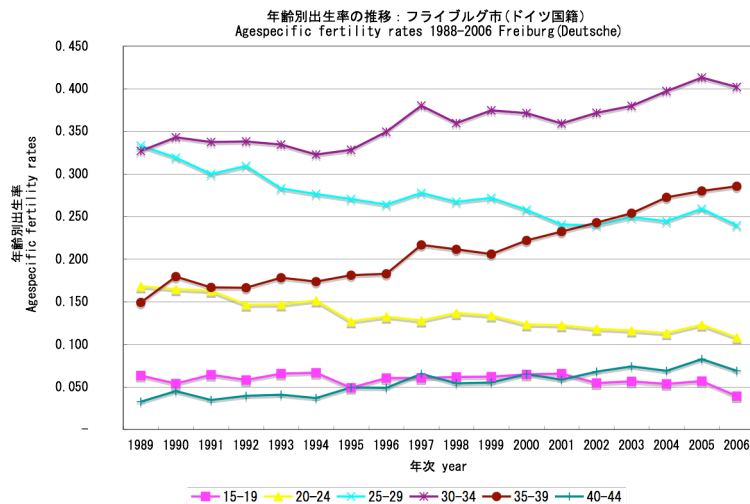
年齢別出生率：札幌市vs.フライブルグ市 Fertility Rate by Age: Sapporo vs. Freiburg i. Br.



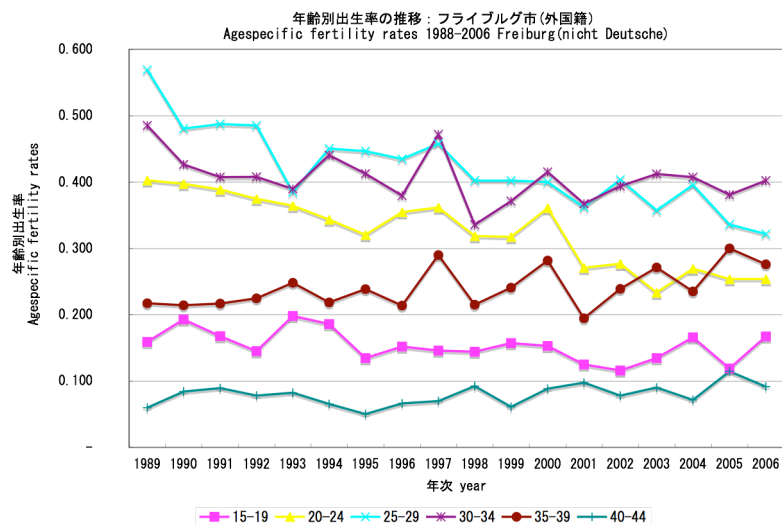
年齢別出生率の推移1988-2006：札幌市 Fertility Rates by Age 1988-2006 : Sapporo



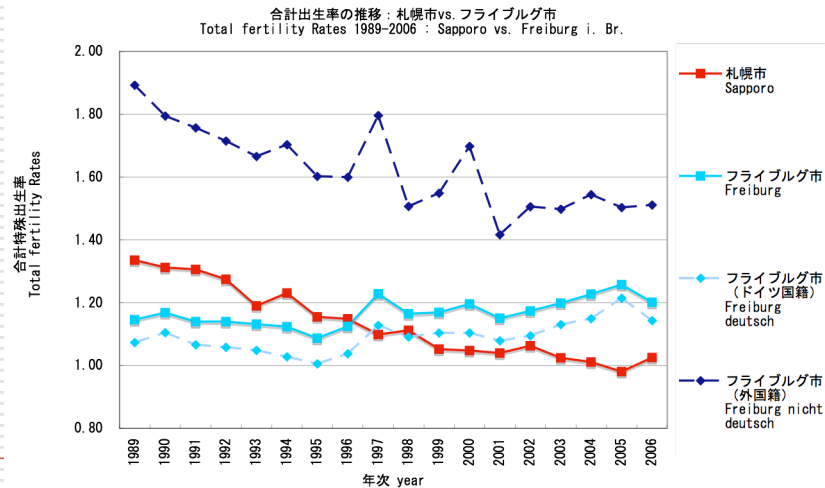
年齢別出生率の推移（１）：フライブルグ市 Fertility Rates by Age 1989-2005 : Freiburg i. Br.



年齢別出生率の推移（２）：フライブルグ市 Fertility Rates by Age 1989-2005 : Freiburg i. Br.



合計出生率の推移：札幌市vs.フライブルグ市 Total fertility Rates 1989-2006 : Sapporo vs. Freiburg i. Br.



札幌市の状況

事例紹介：A Case Study

南区における人口減少と小学校の統合問題
(2008年8月)

Decreasing Population and Reunification of 4 elementary Schools in South District in Sapporo (8/2008 HBC-NEWS)

フライブルグ市の状況

事例紹介: A Case Study in Freiburg I.Br.

市内の児童公園 Stadtpark

ヴォーバン地区 Stadtteil Vauban

新興住宅地域リーゼルフエルトと新興産業団地ハイド
Stadtteil Rieselfeld und Industriegebiet Haid

[フライブルグ市 \(2008年3月\)](#)

Freiburgi.Br. 3/2008

まとめと考察 Considerations

- 人口規模は別として、人口密度、年齢構成、出生力水準、世帯構造など、成熟した都市地域としての特徴は近似している。
- 外国人割合：札幌の0.5%に対しフライブルグは14.3%と高く人口動向への影響は無視できない。
- 年齢別性比：札幌では大学卒業後に男子人口が流出し25-29歳で0.92へと急減するのに対し、フライブルグでは35-39歳の1.03へと回復、家族形成期に男子人口が再流入する傾向がみられる。

まとめと考察 Considerations

- 札幌では晩婚産晩化によるキャッチアップが弱い、フライブルグではドイツ国籍でゆるやかな回復傾向が見られ、30-34歳、35-39歳の出生率の上昇が顕著である。
- 合計特殊出生率は札幌0.98（日本1.26）、フライブルグ1.12（ドイツ1.36）で全国値を1とした格差は0.78と0.82とほぼ同じであるが後者は上昇傾向にある。
- 札幌では少子高齢化により地域的な衰退が発生。フライブルグでは新しい概念に基づく地域開発が実を結びつつある。

ご清聴ありがとうございました。